

第6次田布施町総合計画(案)等に対するご意見及びこれに対する町の考え方

募集期間 令和3年2月15日(月)～令和3年2月22日(月)

意見提出者 4名

提案者	質問・意見	回答
意見者1	大内公園のトイレについて、撤去でなく更新をして欲しい。防災対策として公園が利用できるように。	再度、現地にて確認等を行い、検討を行います。
	防災備蓄について、アレルギー対策や幼児、高齢者などの弱者対策を。 品物の配布、管理に困難が生じ、費用も増大するが考慮が必要。	田布施町独自で弱者対策を含めた備蓄をするためには費用や場所等多くの課題がございます。国や県の状況を踏まえつつ、「第6次田布施町総合計画(案)」に記載のとおり「備蓄整備計画」を策定する中で考えて参ります。
	柳井エリアの水道料金が近隣に比べて高い	「第6次田布施町総合計画(案)」に記載のとおり、田布施・平生水道企業団の経営改革及び改善に継続的に取組み、同時に柳井地域の水道事業広域化の検討や、県水道料金安定化対策費補助金の継続の要望を行います。
意見者2	町の収入が増える施策を、町民総ぐるみで企画、立案、運営する構想をしたら良い	貴重なご意見ありがとうございます。 施策については様々な取組みが行われます。 参考にさせていただきます。
	案1) 町内共通通貨	
	案2) 地産地消率の向上・・・供給需用を可能な限り町内で	地産地消を目的の一つとして田布施地域交流館の活動がございます。また、給食においても地産地消を高める取組みを行っています。
	案3) 町内の公共施設雇用者は町内在住者を優先	雇用については、公平性の観点により居住地の要件は設けていません
	案4) 町内行事(文化、スポーツ、伝統芸能等)の集約化と厳選して開催 ※クラウドファンディングの活用、イベント専門事業者の活用	コロナ禍に対する取組みの中で、令和2年度にクラウドファンディングを実施しました。今後もふるさと寄附金等の取組みを強化し、歳入の確保に努めます。
	人づくりの取組みを強化: 地域・年代・異業種間等の研修、教育、講演会の実施	
	自治会の実態調査が必要。アンケート調査や自治会の「使命」「課題」について関係者に聞き取りを	現在、4月に自治会長集会、10月に地域連合自治会との意見交換会を実施しています。自治会の課題等につきましては、意見交換会でのご質問や個別のご相談で把握をさせて頂いております。
	自治会と行政の関わりの検討(役割、自治会規約、手当等)	「第6次田布施町総合計画(案)」においても施策の取組みとして独立した「地域コミュニティの活性化と担い手づくり」を設けて取組んで参ります。
	以上のようなことを団体や行政等と率直な意見交換の仕組みづくりを再考した方がよい	
	議会内容を質問及び回答を2～3日後に公共施設に掲示する。	本会議の一般質問等は議事録が全部筆記の為、2～3日後での掲載は事務的な作業としてできません。法的に認められている40日以内にホームページにて公表しています。
公民館の業務の見直しと名称の変更(コミュニティセンター等)	貴重なご意見ありがとうございます。 指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。	
人口減少に伴う「過疎」「限界集落」の歯止め施策	「第6次田布施町総合計画(案)」における様々な施策も、人口減少を踏まえた取組みとしています。	
地域おこしリーダー募集(総務省新制度)	貴重なご意見ありがとうございます。 指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。	
山口県民活動に準ずる「社会参加」活動団体をつくる(立ち上げる)	貴重なご意見ありがとうございます。 町内において既存の団体も多く活動されています。 その中で団体毎の役割をよく考慮する必要があります。	

提案者	質問・意見	回答
意見者2	コロナ禍後・・・「世代間対立」(若者・中高年)より協力体制づくり	貴重なご意見ありがとうございます。 町としてご指摘の内容にならないように事業に取り組んで参ります。
意見者3	<p>全体的に内容が満遍なく広く、どこを重点的に取り組まれるのか明確に分からないように感じます。～(中略)～結果検証から、特に効果があって進展した事項、または理由があって今後推進したい重点事項を抽出して、まちの進む方向性を明確にするべきだと考えます。</p> <p>限られた予算の中でより高い効果を出すためにも、課題同士を組み合わせて解決する方策を打ち出すべきだと感じます。</p> <p>【①教育+産業】 こどもの育成と産業の創出のためにも、両者を組み合わせた計画をすべきだと思います。 まず、現在の教育プログラムでは、学生は地域の特性や産業について、ほとんど学ぶ機会がないように感じます。小学校、中学校において地域と関わる教育プログラムを増やし、そうした場提供を地元企業と共に創出するための施策を講じ、高校生には積極的に専修内容と近い産業のインターンなどの機会を大幅に増設する事で、こどもたちの地元での就業の意欲向上と共に、地元産業の魅力化を喚起するべきだと考えます。</p>	<p>「第6次田布施町総合計画(案)」は町全体で目標を共有し、取り組む公共計画になります。その為、多くの施策を計画の中で取り上げることになります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。 指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。</p> <p>ご意見ありがとうございます。 町内の学校では「地域を知り」「地域にかかわる」取り組みとして、コミュニテースクールの仕組みを生かし、学校、家庭、地域が相互に連携協働して子供たちの成長を支えています。 各学校では、学校と地域が連携・協働する教育活動を体系的に示した9年間のカリキュラムを作成しています。田布施町の自然や歴史、産業等、地域資源を生かしたふるさとの良さや魅力を実感・再発見する教育活動を推進し、家庭や地域社会との連携・外部人材を効果的に活用し、地域に貢献することで、人づくりや地域づくりにつなげ、各学校の教育活動の質を高めています。また、町内すべての幼保園・小・中・高・総合支援学校で、「田布施町で育つ三つの美しい心『素直・反省・感謝』」の育成の推進に取り組んでいます。 学校で学ぶことと社会との接続を意識したキャリア教育の実践をめざし、小学校では、総合的な学習の時間に、地域の様々な職場を見学したり、講師を学校に招いて話を聞いたり、地域の方々と積極的に関わり、地域の特色を活かした職業について知る学習を進めています。中学校では、地域の良さや課題を知るために、町内の事業所は職場での体験学習を効果的に活用し、地域・社会や産業界と連携しながら、各教科、道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動などの学校の教育活動全体を通じて、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度の育成を図っています。 また、地域と連携した「1/2成人式」(小)「立志式」(中)を契機とする志を抱かせる教育の充実も図っています。 町では、地域の人材や素材を活用し、人づくりや地域づくりを通して、将来を担う地域の人材を育成し、ふるさとを愛する心や、愛着と誇りを持つ児童生徒の育成を図っています。 なお、高校生のインターン等の取組みは県立学校の為、直接関与できません。高校との連携事業に取り組む際に、指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。</p>
	どぶろく特区や6次産業化についても、地元企業や生産者と農工高校のタイアップによる、更なる魅力化が可能なように思います。	現在、田布施農工高校と田布施地域交流館とが連携して商品開発等に取り組んでおり、町も支援を行っています。
	全体的に財源が高齢者の生活保護に使われるように感じますが、田布施の将来像を元気にするためにも、高齢者の方々にも元気でいていただかなくてはならないのではないかと感じます。勿論、体の不自由な方への補助は必要ですが、現在元気に活動される方々へもスポットを当て、まちおこしの一翼を担っていただくと共に、若者への里山文化の継承を行なっていただく施策を進めるべきだと考えます。	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 高齢者の社会参加や促進、高齢者が地域で生活し、交流できる環境づくりや地域での支え合い活動の取組みなどを行っています。 一方、若者への里山文化の継承については、里山文化の定義付けに難しい点もございますが、意見として参考にさせていただきます。</p>

提案者	質問・意見	回答
意見者3	<p>田布施には、害獣駆除や草刈りボランティア、まちの公園化や、無農薬有機栽培に取り組まれる高齢者の方がおり、こうした事が一部でなくもっと広く認知していく事で、高齢者も若者も、このまちに住む事を楽しみながら新しい産業を生み出すこと、また、高齢者がいきいきとまちに参画することで元気に過ごしていただきながら経済活動をしていただくことは、仕組み次第で可能なように思います。</p> <p>まちには未だ、町民にあまり認知されていない魅力などが多々あり、そうしたものを複合的に組み合わせることで産業を盛り上げる事が出来ると思います。 例えば、馬島のビーチクリーンや田布施川の護岸や公園施設の草刈りによって魅力化を図ると共に、バーベキューなどのイベント開催と複合するなどすれば、町民のまちの魅力化への積極参画を促すと共に、運動による健康増進、地元レジャー施設の周知促進が図れると思います。</p> <p>また、そうして魅力化を図った施設の使用料金を少し上げる代わりに地域振興券を発行して、地元商店での購買促進を図って、地域内循環を向上することもできるように思います。(地域振興券を全国チェーン系の店舗で使えるのは愚策です。流石に改善して欲しいです。)</p> <p>川辺空間は特に、国の補助による整備が進んで特別な魅力空間となっていますから、まちの産業創出の場として収益化を図るべきだと思います。</p> <p>全体的にプランが表面的なのは、町民とのアンケートなどでのやり取りが主で、表面上のニーズからしか分析できていないからだと思います。みんなでまちづくりをするためにも、もっと深い議論が行なえる機会を創出して色々な属性の人に参加してもらいながらまちの進むべき道を構築するべきではないかと思いました。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 町内での高齢者の活躍について、より周知を図り、その力を活かすことは大変重要なことです。 意見として参考にさせていただきます。</p> <p>現在、田布施川での草刈りボランティア等、個々の取組みは行っております。取組みを行う際に、参考にさせていただきます。</p> <p>地域内での経済循環は重要な視点と考えます。一方で町が関与する商品券発行における使用店舗については、公平性の観点から一部事業者を排除することは困難です。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございます。 防災上の課題や法令等の関係もありますが、どのように活用できるか調査研究を行います。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございます。 今後の参考にさせていただきます。</p>
意見者4	<p>今も収束しないコロナ禍の中、生活様式や勤務形態、高速通信網の整備、学校の端末機整備など大きく様変わりしています。第5次総合計画の延長ではなく新しい視点からの計画する必要があります。</p> <p>(コロナ禍の影響も)踏まえて、再度、住民アンケートを取り直した方がよいのでは。</p> <p>住民アンケートに偏りが無いのか。</p> <p>観光資源の発掘と見直し ・地域の食材を利用したレストランや民泊・民宿への経済的支援はできないか。 ・サザンセト地域の1市4町と連携して観光ルートの作成や体験的修学旅行の誘致に取り組めないか。 ・(移住体験施設)「おいでえ」を移住希望者だけでなく、1泊2,000円で気軽に利用できる滞在型観光客増やす取組みはできないか。</p>	<p>今回「第6次田布施町総合計画(案)」を策定にあたり、基本目標を見直し、7つの基本目標とし、様々な取組み記載し、これまでの取組みを見直しております。 また、新型コロナウイルスの影響は、これまで見えにくかった課題が大きく顕在化したものと捉えています。その為、これまでより加速した形での学校ICTの整備や光ファイバー網の充実、行政の電子化等に取組んでおり、計画にも記載しております。 一方で新たな感染症に対する対応も必要と考えており、その点において、計画にその対応を記載しております。</p> <p>コロナ禍により課題が変わったのではなく、より顕在化されたことを認識しています。また、新しい感染症に対する施策の取組みを計画にも反映しております。よって、「第6次田布施町総合計画(案)」に関する再度のアンケートは行いません。</p> <p>20代から80代の無作為抽出でアンケートの配布を行っております。また、施設入所者も除外しております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。 指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。</p>

提案者	質問・意見	回答
意見者4	観光拠点の見直し(観光協会の「ふれあいプラザ」への移転等)	貴重なご意見ありがとうございます。 指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。
	馬島でリモートワークできたらよいのでは。	馬島でのリモートワークについては、その事業に必要な光ファイバー網の整備の検討を進めていきます。
	コミュニティスクールの取組みを充実させ、更に推進して欲しい。	貴重なご意見をありがとうございます。 各小学校、中学校において更に充実させ、取組んで参ります。
	漁業においてはクルマエビなどの中間育成等による「つくり育てる漁業」を進めています」と書いていますが、馬島はアサリ貝であり、漁協が取組んでいるのはカキ養殖ではないですか。	ご指摘のとおり、町内での取組みと、近隣市町と連携しての取組みについて、わかりにくい箇所がありましたので、「漁以外にもカキなどの養殖や近隣市町と連携してクルマエビ養殖」に文章を改めました。
	町内には診療所が6カ所あり、内一つは施設内診療所が1カ所です。診療所がある場所は町内で偏在しており、麻郷地区と麻里府地区で1カ所、大国木等西田布施地区に1カ所あると良いと思います。上記のことができなければ買い物バスを100円か200円で運行するか、ボランティアによる移送サービスやウーバーの導入も考えて医者通いの便宜を図って欲しい。	町として、特定の地域に診療所設置の誘導策は困難です。また、町営での診療所の設置は財源等の課題もあり困難です。一方で交通弱者対策としてのご意見は参考にさせていただきます。
	防災士の配置について、自主防災組織に何人という目標値を設定しては。	防災士育成補助金は、自主防災組織や自治会等の地域団体の防災力向上のための活動を行う意思のある者としております。自主防災組織内に何人という目標値は設定しておりませんが、各地域の実情に応じた有資格者がいればとよいと考えております。
	自主防災組織を3地区から5地区にするにも、年度目標の設定を入れて欲しい。	自主防災組織は、地域内での協議により組織を立ち上げいきますので、年度目標は設定しておりません。町は、地元のご意見・ご要望を受けて組織立ち上げの支援を行っています。組織がない地域には、引き続き、立ち上げのお願いを実施して参ります。
	別府の高潮対策は本来完成しているはずですが、交付金事業の為、進んでいません。補助事業でも早急をお願いしたいです。	引き続き、重要な事業として取組んでまいります。
	防災施設との複合施設になるという麻里府公民館の移設も第6次総合計画の5年間で一定の目途がたつようにしっかりと位置づけて欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 指摘された内容は意見として参考にさせていただきます。
	光ファイバー網を全町に設置することで、大いに利活用にと組んで欲しい。	動画を使用した情報発信やサテライトオフィスの誘致などの新たな利活用策を検討します。
	議会の傍聴をしなくても、動画配信ができるのなら直ぐにと組んで頂きたい。	動画配信については、町民への情報発信として取組みを議会と協力し、実現に至る課題を整理して、対応を行います。